

卒業生によるボランティア活動グループ“わ”会報

情報ぎゃらりー

第21号

情報ギャラリー第21号

発行日 2003年2月21日
 編集 グループ“わ”広報部
 発行者 久保雅一
 発行元 神戸市シルバーカレッジ
 社会還元センターグループ“わ”
 TEL(078)743-8101
 FAX(078)743-8103

どうなる、どうする これからの“わ” 3月上旬に説明会

グループ“わ”は昨年7月に創立5周年を迎えました。5年前に今の“わ”の発足を踏み切らせる大きな原動力となったのが、創立100周年を迎えた川崎重工業株式会社から神戸市に寄付された「高齢者の生き甲斐対策と福祉推進のための基金」1億円でした。この寄付金は(財)こうべ市民福祉振興協会に預託され、川重シルバー活動基金として運用され、その運用益が“わ”の活動を支える大きな基盤になっていました。しかし発足当初300名だった会員がいまは1000人に達するほどになり、また当初は十分と思われた基金の運用益も昨今の超低金利のもとではゼロに近い額にしかありません。さらに発足より“わ”の自立、育成のために行われたカレッジの援けも市財政の窮乏に伴って発足5年を契機に整理縮小されつつあります。

このような“わ”の財政基盤の変動傾向は平成14年度の初めにも予見されており、昨年5月の総会における久保代表の年度方針表明でも見直しが述べられました。そして緊急的な措置として、月例企画会議や運営会議の参加費(活動費)500円の支給を停止しました。会員のボランティア活動に対する活動費の廃止も検討されましたが、いきなりの廃止はさまざまな不都合があることが指摘され、これについては平成14年度は従来どおりの運用をしております。

財政的に外部に依存しない自立した運営が求められる平成15年度以降も継続して“わ”を維持していくためにはどうあるべきか、本年初頭より定例、臨時の運営委員会で検討

を重ねた結果、次の3つの大綱が採択されました：

1. 平成15年度より会費を徴収する、
2. 活動費は原則として全廃する、
3. ボランティア保険は“わ”で全員加入する。

1項は現行の“わ”の規約にも触れる事項で、最終決定は総会に俟たなければなりません。2項は従来の助成金の大きな使途費目でした。3項は財政緊縮には直接関係ないようには見えますが、これは従来カレッジ在校生ボランティアと一緒に付保されていましたが、今後はなくなります。会員の活動に漏れなく付保することは当然のこととして、保険は必要ということで基本方針に入れられました。当然“わ”の定常的な支出項目になります。

紙面では詳しいことを記す余地がありませんが、会費案、概算収支予想など詳しいことを会員の皆さまに説明する会を3月上旬に開く予定です。

グループ“わ”のホームページ

私たちの活動・存在を広く知って頂くため、グループ“わ”のホームページを立ち上げようと模索していましたが、昨年暮れに(財)こうべ市民福祉振興協会(しあわせの村)がアクティブなシニアのためのやる気応援サイト「神戸シニアサイト」を作るに当たって“わ”と連動してはという提案があり、現在その線に沿って制作を進めております。まだ試作の段階ですが、現在できているページは

<http://www.wa-net.jp/sample/> でご覧になれます。

NPOへの途(みち)

これまで2回にわたってNPO法人資格取得の作業をお伝えして参りました。申請に必要な書類の作成は認可の見通しが立った状況で中断されています。

これが初めてのグループ結成ならこのまま申請書類を提出して認可を待つということになるのですが、私たちは既に“わ”というグループを結成しており、会の規約も持っています。“わ”全体がNPO法人資格を取得するという事は、形式的に今の“わ”を解散することになり、それには総会の議決が必要です。ところがNPOへの移行の有無に関わらず、“わ”そのものの存続に関わる財政上の問題が浮上してきたため、NPO法人資格取得作業は現在留保状態で止まっています。

追って皆さまには郵便でご案内することにしております。説明をお聞き頂いた上で、5月の総会で決議することになりますので、ご都合のつく限り説明会へおいでください。

サイトには会員作品コーナーを設け月替りでページを飾って行こうと考えております。

最初は絵画、写真、川柳からスタートします。これはと思う作品があれば事務局までお寄せください。

また4月から正式にスタートする予定ですが、広報部HP小グループを作って今後の運営に当たって行きたいと考えています。日本や世界に向けての発信で、やりがいのある仕事だと思えます。ホームページに関心のある方は是非参加してください。ご希望の方は事務局(743-8101)か、group-wa@portnet.ne.jp までご連絡ください。(広報部)